

石狩版スマートコミュニティの推進

石狩湾新港地域における「超電導直流送電実証実験」は、再生可能エネルギーから超電導ケーブルを用いたデータセンターへの送電に成功し、新年度においても実証事業を継続するものと聞いています。

また、道内企業による液化天然ガス（LNG）貯蔵施設や火力発電所の建設、民生系白物オイルタンクの稼働促進に協力するとともに、アジア最大級の洋上風力発電事業についても適切に対応を図ります。

電力システム改革、エネルギー政策など国の動向を追い風としながら、戦略的に民間事業への支援・協力を行い、環境に優しい「省エネ・創エネ・蓄エネ」のバランスの取れた石狩版「スマートコミュニティ」の実現を目指します。

スポーツは地域と人を変える

本市では、これまでも市民スポーツとして、子どもからお年寄りまでソフトボールに親しんでおり、花川中学校の女子ソフトボール部は本年3月に広島県尾道市において開催される「第12回都道府県対抗全日本中学生女子ソフトボール大会」に出場しますので、派遣支援を行います。

また9月には、札幌市をはじめとした本市を含む周辺都市を会場として、

軟式野球界最大の権威ある「天皇賜杯第71回全日本軟式野球大会」が開催されます。これら「野球ソフトボール競技」を市全体で応援し、盛り上げていきたいと考えています。

昨年に引き続きソフトボール大会の誘致をはじめ、国内外チームの合宿招致に向けたアピールをしていきます。

石狩市で始めた「カロリング」は、年代、障がいなどの壁を越え、ともに汗を流しています。参加した知的障がい者「大地の会」のメンバーは、はじけるようにスポーツの喜びを表現していました。引き続き全道大会が開催できるよう支援していきます。

また、次世代を担うアスリートの発掘や育成、施設整備を進めるとともに多種目・多世代・多志向のスポーツ活動やレクリエーション事業を実施し、スポーツを通じた「人材育成」や「世代間コミュニケーション」の醸成に取り組みます。

光を放つ地域資源―北海道観光の新拠点化を目指して

浜益区では、これまで将来にわたって持続可能な公共交通の検討を進めてきましたが、より市民の利便性向上を図る新たな手段としてデマンド交通運行事業を始動します。

また、本年から8月11日が「山の日」として国民の祝日となります。国定公園の暑寒別を世界に発信するため、増

毛山道の開通に協力するとともに、山道を周回するルート開発を行うなどインバウンド導入をも視野に入れて、展開していきます。また、NPOを主体としながら国や道とも連携を図り、国指定

おわりに

土地開発公社の問題は、本市発展の反対軸、いわば影の部分であり、追いかけても消えることの無い、あまりにも深刻で、有効な手だてが見つからないまま長い年月を費やしてきました。

市長就任16年の間、この問題を抱えながらの行財政運営は、時に忸怩たる思いがあつたことは否定しようもありません。

十数年かけて取り組みを続ける中で、私とともに歩んだ市職員、提案と叱責をいただいた先輩や同僚、その悩みを共有していただいた市議会議員の各位、そして何よりも私たちを信頼してくださった市民の皆さまに対し重くのしかかっていたこの問題に、一定の方向性と具体性を報告できることは、何ものにも代え難いものがあります。

同時にこのような事態に陥つたことを深くおわび申し上げます。その責任の重さをあらためて痛感しております。これまで膨れ上がった損失を二括して処理の上、解散することとなります。今後のさらなる損失拡大を防ぐためには、この方法以外の対案は無いとの

文化財、歴史山道、巨木文化、漁ろう文化施設等の歴史・自然など、日本海側北部地域へのゲートウェイとして戦略的に地域資源を活用します。

判断をしたものであり、何とぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。

昨年、30年後のまちの未来像を描いた総合計画がスタートし、本年は市制施行20周年を迎える節目の年となります。本市は地理的な優位性のほかに「自然・地勢」や「産業」「技術」「歴史・文化」などの「強み」を有しています。特に市政の中核をなす石狩湾新港の発展を支えてきたものは、先人たちの情熱と決断、立地企業や市民の石狩愛であり、それは大切に育てていくべきものと考えています。

次は私たちが未来の先人として、未来を生きる市民に何を残し伝えていくかであります。内包する本市のポテンシャル(潜在能力)を発掘し、その優位性を十分活かした都市へと発展するには、終わりになきチャレンジと故郷石狩への至誠にはかならないと確信しています。

皆さまのご理解とご協力をいただきながら、市の成長へと邁進することを申し上げます。平成28年度の市政執行方針とします。

平成28年度 当初予算の概要

※詳しくは市HP「財政資料室(予算・決算)」
でご覧いただけます

●教育・子ども施策に重点化した予算編成

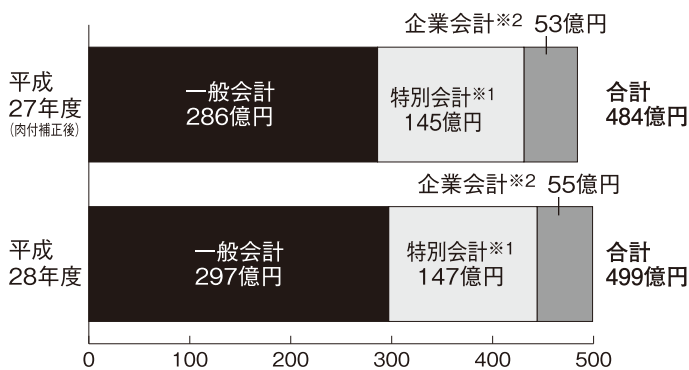
平成28年度予算は、子育て環境の充実をはじめとした教育・子ども施策に重点的に配分したほか、学校給食センター建設や道の駅関連事業などを盛り込んだ積極型予算となりました。

また、第三セクター等改革推進債を活用して石狩市土地開発公社を解散することで将来世代の負担軽減を図るなど、財政健全化につながるよう努めました。

●一般会計の予算額は前年度比プラス4.0%

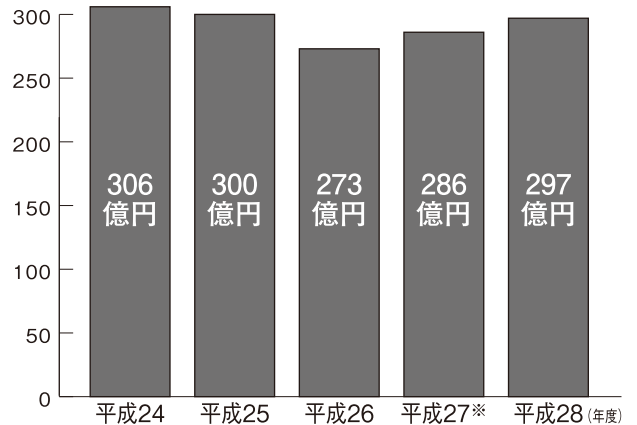
一般会計の予算額は297億円で、前年度の6月補正(肉付補正)後の予算比約4.0%の増となりました。また、特別会計や企業会計を加えた総額では約3.2%の増となりました。

会計別の予算規模



※1: 国民健康保険事業、国民健康保険診療所、後期高齢者医療、介護保険事業、介護サービス事業、個別排水処理施設整備事業、土地取得、特定環境保全公共下水道事業の8会計
※2: 水道事業、公共下水道事業の2会計

一般会計予算規模の推移(当初予算)

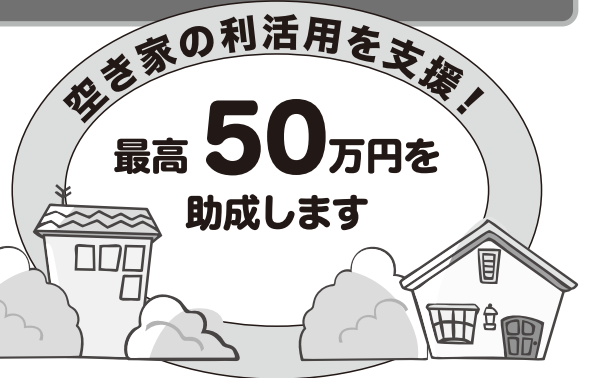


※市長選挙後の6月補正予算(肉付補正)を含みます

問合せ 財政課 ☎72・3154

石狩市空き家利活用促進制度

この制度は、市内の空き家を購入して利活用してもらうことにより、地域コミュニティや地域経済の活性化を図ることを目的としています。



2段階支援!

制度の概要

- ◎「定住」または「創業」のため
〈市内の空き家を購入する場合〉 → 1件につき **25万円**を助成
- ◎上記の例において、さらに
〈地元事業者などによる改修・改築などを実施する場合〉 → 1件につきさらに **25万円**を助成

受付期間 4/1(金)～ ※予算額に達し次第、終了

そのほか 売買契約締結後の申請は助成の対象外となるほか、助成対象となる空き家については一定の条件を満たすことが必要となりますので、詳細はお問い合わせください

申込・問合せ 建設指導課 ☎72・3162